

 公益財団法人  
どうぶつ基金

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7  
TEL: 0797-57-1215  
FAX: 0797-25-2075

[contact@doubutukikin.or.jp](mailto:contact@doubutukikin.or.jp)

[www.doubutukikin.or.jp](http://www.doubutukikin.or.jp)




一人でも多くの人に知ってもらいたいから、  
この資料を読み終えたら他の人に渡してあげてください。

2015

# 活動報告書

doubutukikin activity report

2015/4/1 - 2016/3/31

 公益財団法人  
どうぶつ基金



# 希望。

## お礼とご報告

### 利他の心が創る 殺処分ゼロの日本。

環境省から公表された平成26年度の犬猫の殺処分数は、犬約2万頭、猫約8万頭、計10万頭でした。平成25年度から一年で21%の減少が実現できました。

ながらく日本は欧米に比べて動物愛護後進国といわれてきましたが、犬猫の殺処分数はアメリカの年間270万頭に対し日本は10万頭です。ドイツでは毎年約40万頭の猫が殺処分されていますが日本は8万頭です。（※国立国会図書館調査及び立法考査局農林環境課の調査より）この数字から日本はGDP上位4か国の中で最も殺処分数が少ない国になったことがわかります。

どうぶつ基金が設立された1988年ごろ、日本の殺処分数は約100万頭でした。「不妊手術をする」「譲渡を促進する」ことで殺処分ゼロは実現できるという私たちの実践活動は、焼け石に水と揶揄されていました。そんな中、殺処分数を10分の1まで減少させたのは、里親探しや不妊手術をコツコツと行ってきた名もなき人たちの行動力と利他の心です。

こういった皆様の温かいご支援のおかげで平成27年度は8,046頭の不妊手術を行うことができました。世界自然遺産登録を目指す鹿児島県徳之島では絶滅危機にあるアマミノクロウサギを猫が捕食している事が発覚、どうぶつ基金では徳之島に住む2,136頭の猫に不妊手術を施すことが出来ました。その結果、2014年に9羽も発見されていた猫に殺されたと思われるアマミノクロウサギの死体は2015年は1羽に減りました。またこれまで長年発見されなかった地域でクロウサギが確認されるようになりました。

私たちは今までの実践活動と結果を誇りに、利他の心を行動規範として殺処分ゼロ実現に向け、さらに努力をしたいと思います。

いつも利他の心をもって共に歩んで下さるボランティアや獣医師の皆様、ご支援をいただく皆様、行政の皆様にご心よりお礼申し上げます。



公益財団法人どうぶつ基金 理事長

佐上邦久

KUNIHISA SAGAMI

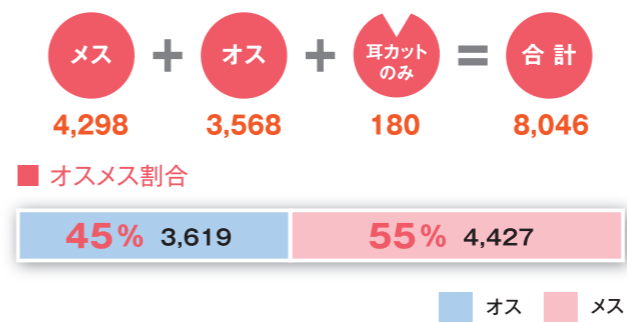


# 平成27年度は **8,046** 頭の さくらねこ無料不妊手術を行いました。

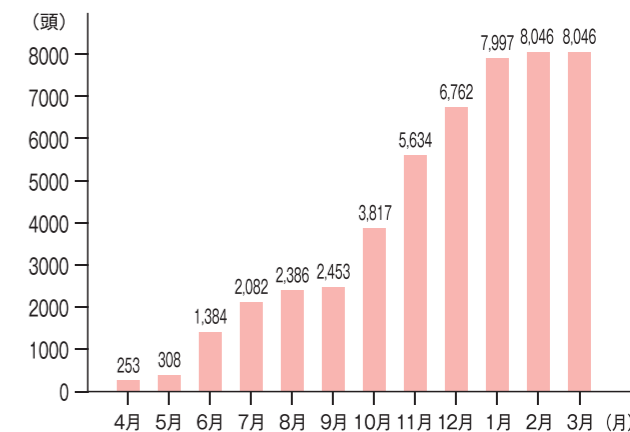
「さくらねこ無料不妊手術事業は、平成27年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けています。」

## 殺処分ゼロを実現する

平成26年度に全国で殺処分された猫は、7万9,745頭です。なかでも猫の殺処分数が最も多い大阪府では、殺された猫のうち、90%が離乳前の子猫でした。コツコツとさくらねこTNRを実施することが、殺処分ゼロへの近道です。平成27年度もどうぶつ基金では、「さくらねこ無料不妊手術事業」を全国の協働ボランティアと実施しました。



■ 平成27年度さくらねこ無料不妊手術事業TNR数累計



## 多頭飼崩壊

不妊去勢手術を怠ったために、一軒の家の中で、猫が大量に繁殖し、飼い主だけでは対応が不可能になった状態を指します。衛生環境も猫の状態も悪く、改善には、第三者の支援が必要です。どうぶつ基金では、平成27年度に2件の多頭飼育崩壊現場の支援(無料不妊手術)を行いました。



voice  
NATSUKO  
KITAYAMA



ボランティア 北山 奈津子

### 多頭飼育崩壊現場から

今回ご支援をいただいた現場では、全頭の不妊去勢手術を終え、現場から30頭を引き出し16頭が里親さんの元にあります。多頭飼育者の多くが高齢者、独居、生活保護の受給など、不安定な生活を送り、なんらかの社会的支援、精神的ケアが必要な状態で、当事者だけで解決することができない状況に陥っています。多頭飼育されている猫たちは十分な食料も与えられず胃が小さい為、吐き下しの連続でした。慢性の風邪にも

犯され、トイレのしつけもなく食器に糞尿する日々でした。悲惨な現場を知ってしまった以上、ボランティアは見えぬ振りができず、介入を試みますが、数十頭の不妊手術や保護は、とても個人ボランティアで対応できる金額ではありません。無理をすればボランティア自身の生活が崩壊してしまいます。そういった現状のなか、「どうぶつ基金」さんの協力を得ることによって、2次崩壊などにならず、継続的に活動することができました。この場を借りてどうぶつ基金にご寄付いただいた皆様に感謝申し上げます。

# 救う。

# 守る。

## どうぶつ基金が推進する さくらねこTNR(ティエヌアール)

**即行**

### スグやる

猫は一度の出産で5~7頭の子猫を産み1年に3回出産することができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っているのは、猫の繁殖スピードに追い付きません。

**徹底**

### 全部やる

90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。

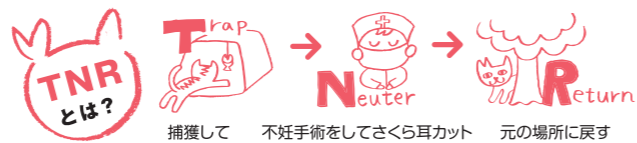
**継続**

### 続ける

100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新参者が見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば、殺処分ゼロ、苦情ゼロは実現可能です。

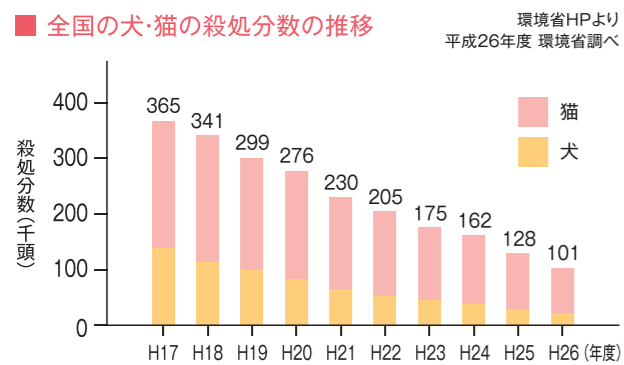
### さくらねこTNR(TNR先行型地域猫活動)

「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR(Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術とさくら耳カットを行い、Return/元の場所に戻す)」を実施することで繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

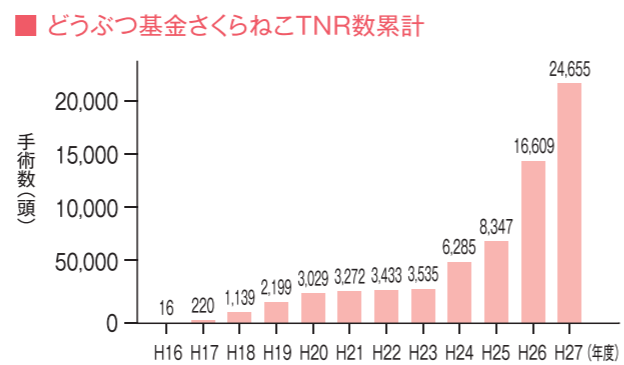


TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術してさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

### ■ 全国の犬・猫の殺処分数の推移



### ■ どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



### 現場からの声

**voice** 不妊手術をしたのら猫たちは性格が穏やかになるので、地域住民が可愛がって下さるようになりました。その結果、衛生状態のよいら猫が増えて町のイメージが良くなり、町が平和になりました。大阪府 Yさん

**voice** 顔をあげている人、猫がいる近辺の人達が、TNRを実施して、さくらねこを理解してくれるようになると、地域の人達、知り合いの人達に、さくらねこのことを広めてくれるようになりました。こういうふうには、どんどん広まって、さくらねこが理解されるようになればいいと思います。東京都 Mさん

**voice** うちの地域は車通りが多いところがあり、頻繁に事故に遭う猫さんが多かったのですが、TNRが進むにつれ事故に遭う猫さんも格段に減りました。喧嘩で追っ掛け合う際の道路への飛び出しが少なくなった為だと思われています。大阪府 Kさん

### どうぶつ基金が行う様々な支援活動

**? TNRの活動を どうやって子どもに伝えたらいいか 迷ったことはありませんか?**

どうぶつ基金では、とてもわかりやすいパンフレットやポスターを無料配布しています。ホームページからお申し込み下さい。

[www.doubutukikin.or.jp](http://www.doubutukikin.or.jp)



**voice**  
ERIKO  
KOIKE



公益財団法人 どうぶつ基金  
プロジェクトリーダー  
小池 英梨子

### 現場の力を大切に

平成27年度は8,046頭に無料不妊手術を提供することができました。この数字は、世界的にも突出した数です。毎月募集する「さくらねこ無料不妊手術チケット」には、ひと月分1,500頭を超える頭数の申請が全国数百名の協働ボランティアさんや行政機関、公園管理事務所等から届きます。申請書には、現場の猫の状態や実施計画が詳細に書かれており、第一線で活動している方々の熱い思いや苦勞、命を大切に想う真剣さが伝わってきます。現場の力を大切に、ボラ

ンティアの方々に、チケットをお渡しすることによって、全国で同時期に多数のTNRが可能となります。これだけの頭数のTNRを行うことができるのは、現場の力はもちろんのこと、全国の協力病院、寄付者の皆様のご協力のお蔭です。ボランティアさんや行政、一般の方々や企業など、様々な立場をもちながらも、「犬や猫の殺処分をゼロにしたい」という同じ想いを持つ人と人をつなげ、大きな力として日本の動物問題を改善していく、そういった仕組みづくりを担い、支える土台となるのがどうぶつ基金の役割であり使命だと考えています。



# 2,136

徳之島の2,136頭の猫がさくらねこになりました。  
平成27年度は4回の出張手術を実施し、  
958頭の猫に不妊手術を施しました。

## 徳之島では猫による アマミノクロウサギ捕食被害 **1**羽に激減

どうぶつ基金では、2,136頭の徳之島の猫に不妊手術を、3町と協働で実施しました。その結果、2014年にはイヌまたはネコにより捕食されたとされるアマミノクロウサギは9羽ありましたが、2015年は1羽のみに激減したとの報告を受けました。また、新規に5つのエリアで、アマミノクロウサギが確認されました。

**徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクト生物多様性まもって世界自然遺産に登録しよう**

主催：公益財団法人どうぶつ基金 共催：天城町、伊仙町、徳之島町 協力：NPO法人徳之島虹の会、徳之島ねこ部、徳之島自然保護推進協議会

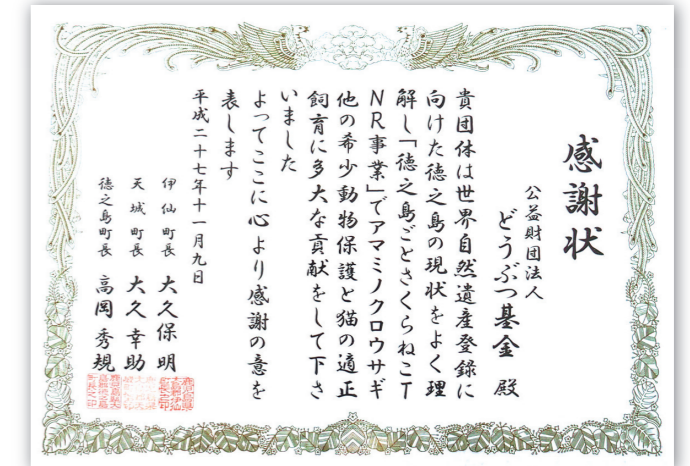




## 天城町、伊仙町、徳之島町から 感謝状をいただきました。



徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクトの  
功績と成果に対して3町を代表して  
天城町 大久幸助 町長に感謝状をいただきました。



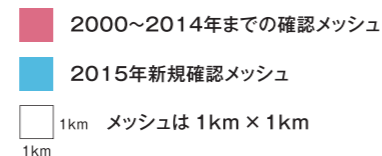
## アマミノクロウサギも猫も殺さないですむ さくらねこTNR(ティエヌアール)にしよう。

公益財団法人どうぶつ基金では鹿児島県奄美群島の世界自然遺産登録への取り組みとして、行政と協働して、猫の捕食によるアマミノクロウサギ絶滅の保護措置のために徳之島に生息する全ての猫を対象に、2,136頭のさくらねこTNR無料不妊手術を行いました。  
平成26年11月から27年1月までの1年2ヶ月で、6回の出張手術を実施しました。

■ イヌまたはネコによるアマミノクロウサギ捕食被害

9羽から1羽に。

■ アマミノクロウサギ確認エリア



62ヶ所から67ヶ所に。

■ 徳之島でのアマミノクロウサギ確認状況

年	生息確認頭数	猫により捕食された頭数
2014	およそ 200羽	9羽
2015		1羽
2016*		0羽*

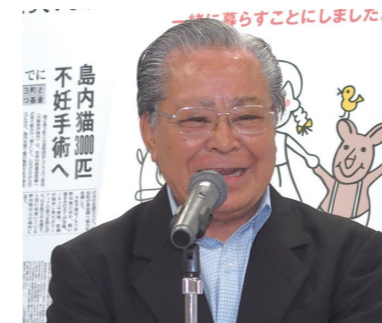
\* 2016年の数字は3月現在までの数字

情報提供 = 環境省徳之島自然保護官事務所



アマミノクロウサギ

写真提供 = 環境省奄美自然保護官事務所



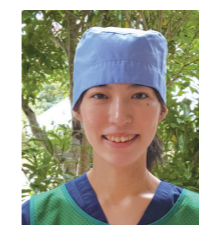
天城町長 大久 幸助

徳之島3町長全員が理解をしています。  
最後の1頭まで無料不妊手術をよろしくお願いします。

アマミノクロウサギを猫が食するという問題があり、どうしようか、という時に、どうぶつ基金の皆様がご協力いただけるということをお伺いし、昨年からお世話になっているわけですが、これが大変効果が出てまいりました。  
色んな会合の中で、この話が出てまいりまして、徳之島ではこのようなことが進められているのに奄美大島も同じようにやってほしい

と先日の新聞にも書かれていたようです。今までに、1,976頭\*の手術が終わり、あと、少し残った猫すべてを終えると、世界自然遺産も大きな課題の山を越えるのではないかなと思っています。  
どうかひとつ大変でしょうけども私たち3町長とも理解を示しておりますので、よろしくひとつお願いしたいと思っています。  
\* 第5回目の出張手術までの頭数

voice  
NAOKO  
KUSAKABE



獣医師 日下部 尚子

TNRで島の生態系を保つ

私は第2回と5回の徳之島TNRに参加させて頂きました。徳之島では地域の野良猫問題だけでなく、絶滅を危惧されているアマミノクロウサギを野良猫が捕食しているという問題があります。どうぶつ基金のもと、行政の方、地域の方など、それぞれができることを行い、皆でこの問題に取り組みました。繁殖力の高い猫ですが、徳之島のように限られた場所で集中的に行うTNRは、確実な頭数の減少を期待できます。増えてしまった猫を殺処分というかたちで排除するのではなく、今生きている命を

大切にしながら、TNRにより島の生態系を保つことが出来ればと願っています。不幸な猫が1頭でも減らせるように、そんな思いで診療、手術にあたっていますが、普段生活の中で個人で出来ることというのは多くはありません。しかし、様々な人が協力し合うことにより、達成出来ることが多くあるということをTNR活動に参加させてもらうことにより学びました。野良猫は病気だけでなく、さまざまな危険にさらされながら生き抜いていかなければなりません。何か事故にあったとき助けるだけではなく、積極的に避妊去勢手術をして、殺処分が1頭でも減らせるようにと考えています。

新聞掲載



2015年12月15日 沖縄タイムス  
野良猫137匹不妊手術 殺処分回避図る



2015年9月20日 南日本新聞  
竹島の人口より多い猫 92匹に不妊去勢手術



2015年11月10日 奄美新聞  
どうぶつ基金に感謝状 クワサギ保護 適正飼育にも貢献



2015年10月16日 毎日新聞  
地域猫に不妊手術 県が依頼殺処分ゼロ目指す

読売新聞東京本社メディア局編集部 ヨミウリオンライン



1. 「さくらねこ」って知っていますか？ 不幸な猫をなくすために  
2. 誰がノラ猫を増やしたのか？  
3. TNRでノラ猫のケンガが減り穏やかに

東洋経済オンライン



鳥猫3,000匹の「不妊化」は、人間のエコなのか



KTS鹿児島テレビの取材 (徳之島ごとさくらねこTNR事業)



チャリティートークイベントに出演



阪急百貨店うめだ本店にて、「一般財団法人 H2Oサンタ」様が主催するチャリティートークイベントにどうぶつ基金佐理事長が参加しました。

平成27度は、全国で延べ1,085グループの協働ボランティアと56の協力病院によって、

**6,567**頭の  
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんから申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、平成27年度は6,567頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

平成27年度  
協力病院全国

**56**  
件

平成26年度  
**32**  
件

- **北海道**
  - 恵庭市 よつば動物病院
  - 千歳市 新千歳動物病院
- **茨城県**
  - 土浦市 いながき動物病院
  - つくば市 みどりの動物病院
- **栃木県**
  - 足利市 柿沼ペット病院
- **東京都**
  - 杉並区 ハナ動物病院
  - 立川市 おおにし動物病院
  - 立川市 立川プラスワン動物病院
  - 町田市 聖マリアンヌ緑山動物病院
  - 東大和市 湖畔どうぶつ病院
  - 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん
  - 中野区 mocoどうぶつ病院
  - 渋谷区 代官山動物病院
  - 日野市 きもと動物病院
  - 武蔵野市 三鷹獣医科グループ
  - 武蔵野市 ひだまり動物病院
- **神奈川県**
  - 川崎市 モモ動物クリニック
  - 川崎市 ヴィーダ動物病院
  - 大和市 山口獣医科病院
- 横浜市 コトブキ獣医科医院
- 横浜市 明和動物愛護病院
- 横浜市 さかい犬猫クリニック
- 相模原市 ふー動物病院
- 小田原市 Swing どうぶつ病院
- 茅ヶ崎市 まつうら動物病院

- **埼玉県**
  - 上尾市 堀動物病院
  - 越谷市 いながき動物病院
  - 八潮市 ペットクリニックローバー
- **千葉県**
  - 松戸市 ときわだいら動物病院
- **静岡県**
  - 浜松市 そら動物病院
- **愛知県**
  - 豊川市 ヤマヒロ動物病院
  - 名古屋市 しっぽ動物病院
  - 丹波郡 やませどうぶつ病院
  - 岡崎市 ダイゴペットクリニック岡崎
  - 豊田市 ダイゴペットクリニック豊田
- **三重県**
  - 伊賀・名張 三重県獣医師会伊賀支部(8病院)
- **大阪府**
  - 大阪市 一犬猫病院

- 大阪市 ありす動物病院
- 大阪市 天神橋バンビの森動物病院
- 吹田市 くすのき動物病院
- 池田市 北摂TNRサポート
- のらねこさんの手術室
- 松原市 エイベット
- **京都府**
  - 京都市 ゼロの会 動物病院
- **兵庫県**
  - 神戸市 ますだ動物病院
- **奈良県**
  - 北葛城郡 はねペットクリニック
- **広島県**
  - 福山市 りっか動物病院
- **福岡県**
  - 大野城市 さくらねの動物病院
- **鹿児島県**
  - 始良市 加治木動物病院
  - 鹿児島市 ル・オーナペットクリニック

(2016年3月10日現在)

voice  
KATSUHIKO  
TSUJI



三重県獣医師会伊賀支部長  
鴻之台動物病院 院長  
辻 勝彦

どうぶつ基金の協力病院となって

どうぶつ基金との出会いは平成25年に名張市がどうぶつ基金の無料チケットを使って避妊去勢手術をした事にさかのぼります。その後行政と市町村の積極的な働きかけと努力により、出張手術で平成26年度に65頭、平成27年度に203頭のさくらねこが誕生しました。そして今年度、三重県獣医師会伊賀支部がどうぶつ基金の協力病院になる事になりました。今回、獣医師会支部単位で契約することは個人の協力病院と違い、地域において行政、ボランティア、獣医師の三者が一体となって地域猫の殺処分ゼロを目指すことに向かう事が出来、また一般の地域の方々からも地域で野良猫に対してこんな活動をしているというアピールにもなり、地域での捨て猫、野良猫に対しても意識が高くなる事が出来ると考えます。またそれぞれの立場からもメリットが多く、我々

獣医師は日々の診療の中で低料金や無償でボランティア手術を続けることはなかなか難しいことですが、今回は行政が間に入って個々の状況を精査してくれるので、手術のみを行い技術を提供する事でボランティア活動が出来る。支部単位で契約することで、個々の獣医師の負担も軽減することができます。また行政は事業資金の心配をすることなく事業を継続する事が出来、今までの様にボランティアから何もしてくれない行政と文句を言われることもなく、むしろボランティアさんから信頼を得られて、地域活動が円滑にはこびます。またボランティアさんは個別に獣医師、行政に嘆願、依頼する必要なく、今までの様な低料金ではなく無料で手術を行うことが出来、他の活動にも余裕ができます。伊賀地域ではこれからも三者が協力して、事業を継続し少しでも早く地域での殺処分ゼロに近づけたらと思います。

voice  
EMI  
YAMAMOTO



三重県健康福祉部  
食品安全課  
山本 絵美

さまざまな関係者との連携を大切に

三重県では、平成26年度から、公益財団法人どうぶつ基金と協働して、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫の問題の解決に向けて取り組んでいます。この取組について県内の複数の地域から協働の申し出があったことから、平成27年10月に、どうぶつ基金、地域住民、ボランティア、三重県獣医師会伊賀支部、公益財団法人三重県動物愛護管理センター、関係市町職員等と連携

して、203頭の猫に出張手術によるさくらねこTNR無料不妊手術を実施しました。この紙面をお借りして、ご協力頂きました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。今後も、飼い主による猫の適正飼養・終生飼養の普及啓発を行うとともに、さまざまな関係者との連携を大切にして、引取り数・殺処分数の大半を占める飼い主のいない猫を生み出さないための取組を進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

ボランティア参加から協力病院開業へ  
Swingどうぶつ病院OPEN

院長の平野獣医師は、どうぶつ基金が主催する出張手術に参加したことをきっかけに、獣医師としての役割を改めて実感。地元小田原市でノラ猫や保護犬猫専門のどうぶつ病院を開業することになった。開業前からタウンニュースに大きく取り上げられ、行政枠の無料不妊手術チケットの受け入れなど地元の期待も大きい。

Swingどうぶつ病院  
院長  
平野 亜矢子



小田原タウンニュース



平成27年度は、9回の出張手術によって

# 1,479 頭の

さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアさんから申請を受け、不妊手術のプロフェッショナル獣医師団を派遣し出張手術を実施しています。9回の出張手術によって1,479頭のさくらねこがうまれました。

平成27年度  
出張手術でのTNR数

# 1,479 頭



<b>39 頭</b> 静岡県 熱海市	<b>251 頭</b> 鹿児島県 徳之島 第3回出張手術	<b>160 頭</b> 鹿児島県 徳之島 第6回出張手術
<b>203 頭</b> 三重県	<b>233 頭</b> 鹿児島県 徳之島 第4回出張手術	<b>92 頭</b> 鹿児島県 三島村竹島
<b>50 頭</b> 大阪府 多頭飼崩壊	<b>314 頭</b> 鹿児島県 徳之島 第5回出張手術	<b>137 頭</b> 沖縄県 名護市

voice  
SHINSAKU  
YAMAZAKI



竹島地区会  
NPO法人みしまです代表  
山崎 晋作

猫も島も穏やかになりました

私の住む竹島は、2015年の9月に「竹島ごとさくらねこ一斉TNRプロジェクト」で島中の猫の手術をしていただきました。人口80人に対して猫の数100頭。手術前は縄張り争いでケンカをしたり、発情期で鳴き続けたり、糞尿の匂いがそこら中でしたり、悩みの種でした。ところが、手術していただいてからというもの、猫たちは穏やかになり、糞尿の匂いもうそのようになくなりました。これだけの猫の手術をすることができたのは、どうぶつ基金のみなさんをはじめ、寄付していただいた皆さんのおかげです。みなさん、本当にありがとうございました。



## 大切な命を守り共に生きていく。

飼い主のいない猫の問題を殺処分ではなく不妊手術によって解決していくTNR。犬も猫も、尊い命をもった地球に共に住む大切な仲間です。TNRの活動を通じて殺処分ゼロを実現することは遠い道のりで夢物語のように思っているかもしれません。けれど、地道な活動を継続していかない限り、実現もできません。2010年より私が務めさせていただいている「いのちつないだ・ワンニャン写真・動画コンテスト」や「ポスターコンテスト」には、大切にされ愛されている犬や猫の生き生きとした表情やしぐさを、本当に多くの方々を送ってくださっています。コンテストの審査は、どの写真も愛があふれていて素敵な作品ばかりで、悩みながらも選ばせていただいている、とても責任重大で楽しい時間でもあります。そんな犬や猫たちへの愛にあふれたこのコンテストを通じて、TNRの活動が一人でも多くの方に伝わり、大切な命を守り共に生きていくことが叶うよう願っております。



Photo by I.Susa

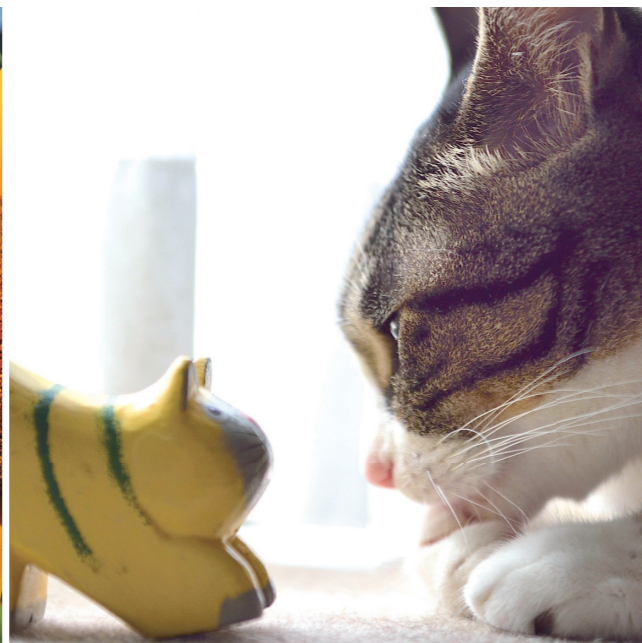
写真・動画コンテスト/  
ポスターコンテスト審査員  
森田 恭通 さん

## 作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか? どうぶつ基金では、展示品貸出を全国に無料貸出しています。



どうぶつ基金貸出専用ホームよりお申し込みください。  
[www.doubutukikin.or.jp](http://www.doubutukikin.or.jp)

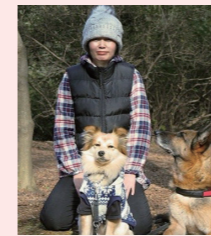
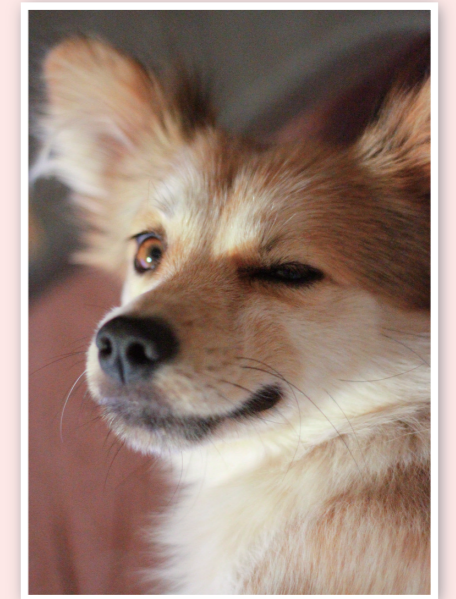


買わずに飼ってね!

## いのちつないだ♥ ワンニャン写真・動画コンテスト

### 小さな命を救い、共に生きる。

このコンテストは、犬や猫と幸せに暮らす方法として、ペット業者から買うのではなく「保護された動物の里親になる」「地域猫の世話をする」といった、本当なら殺されていたかもしれない小さな命を救い、共に生きることの素晴らしさを多くの人に知ってもらうために開催しています。



環境大臣賞 中倉 由美子 さん

このたびは環境大臣賞をいただきとても嬉しく思っています。徳之島の保健所からやって来たやんちゃ坊主は、初対面では唸って噛みつこうとしていたけれど、今ではしつけ教室の先生に褒められるまでになりました。先住犬達にはかわいがられ、猫達には遊んでもらっています。引き取る際、多くのボランティアの方々にお手伝いいただき、今一緒に暮らせる喜びがあることを感謝しています。どうぶつ基金さんの事は、馬島の猫たちが一斉に不妊手術を受けているのを初めてニュースで見て知りました。それを観たときの衝撃は今でも忘れられません。猫の糞尿などで困っていた島の人々は、手術後の猫たちをきっと今までと違う気持ちで見てくださっている気がします。感謝の気持ちと共にプロジェクトを応援させていただいています。どうか一日も早く殺処分ゼロの日が来ますように!

## さくらねこTNR ポスターコンテスト

### さくらねこTNRを広めるために。

“さくらねこTNR”は少しずつ認知されるようになりましたが、まだまだ知らない人が多いのが現状です。そこで全国の方に、“さくらねこTNR”を広く広報して理解を得るためのポスターコンテストを実施しました。

森田恭通賞は印刷し、全国のボランティアさんや行政に無料配布しています。



森田恭通賞 ミカミミカさん

実は受賞したこの絵は2年ほど前に考えたもので、私はまだ「さくらねこ」という言葉を知りませんでした。そのころ地域猫をよく知る友人から「カットした耳が桜の花びらの形をしてるんだよ」と聞き、なんて可愛い例えなんだろうと思ったのと同時に、殆どの方が「さくらねこ」を知らないという事も実感しました。以来「さくらねこ」の事を広めたいとは思っても個人での拡散力がなかったのですが、TNRポスターコンテストの募集を知り「これだ!」と応募したのです。受賞したおかげで、私の小さな願いも沢山の方の願いと一緒に広がって行くのを実感しています。地域猫のお世話をしている方や、どうぶつ基金の活動には頭が下がるばかりですが、まずは知ってもらい、理解され、そして殺処分ゼロの実現へ… その最初の一步で、私のデザインしたポスターが役に立てばと思っています。

# 48頭 × 5,000円

## 行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

### 犬や猫を殺処分前に救って 新しい家族を見つける活動を支援しました。

どうぶつ基金では、全国の行政で行われている  
犬や猫の団体譲渡制度を推進するために、行政から保護動物を引き取り、  
新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

**1頭あたり、5,000円**の助成を行いました。

**?** **団体譲渡制度って?** 行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人へ、保護された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの保護された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます!

平成27年度助成実績

平成27年度は、**7** 団体によって **48** 頭が再譲渡され、合計 **240,000** 円の助成を行いました。

頭数 **48** 頭

×

**5,000** 円

=

助成金額合計 **240,000** 円

voice

MIKA  
HARADA



NPO法人 猫たちを守る十勝Wishの会  
理事長

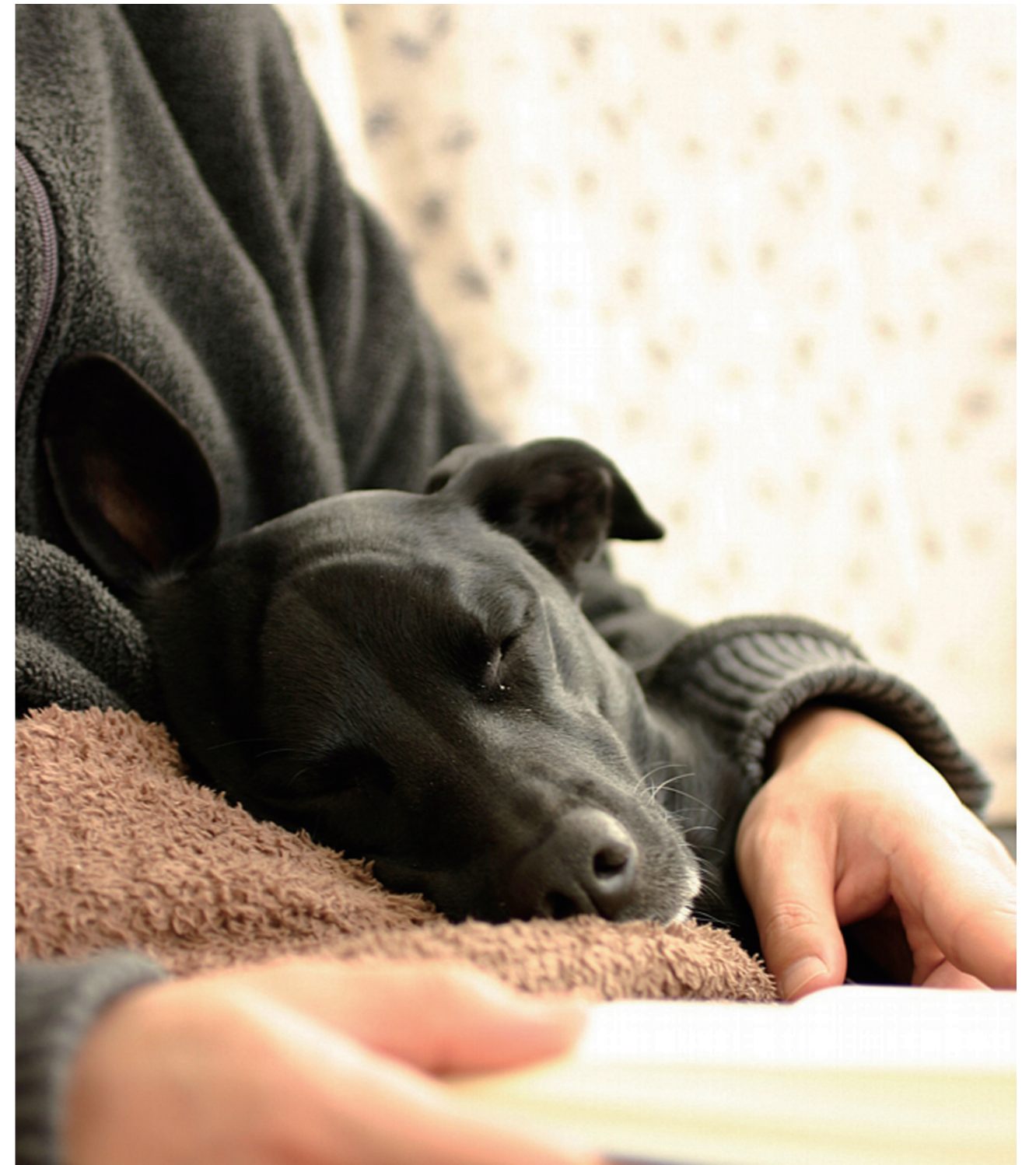
原田 美加

#### 不幸な犬猫をへらしたい

北海道での保護型猫カフェの先駆けとして、2008年に帯広市で運営をスタート、2011年よりNPO法人として地元ボランティアや全国の皆さまからご支援を受け活動しています。主に猫の適正飼育の理解促進のための活動を行っていますが、行政との連携では帯広保健所(十勝総合振興局)から情報をいただき、里親募集と譲渡を積極的に進め、殺処分をこれ以上増やさないよう努めています。もらい手がつかなく殺処分が決まった子、病气、高齢、ケガの子をひきとっているため飼育費がかさんでいます。地方ということもあり、当団体は資金的にも厳しいところですが、

2014年からどうぶつ基金の助成制度に申請をさせていただくようになり、大変ありがたく活用させていただいています。この場を借りてお礼を申し上げます。

「不幸な犬猫を減らしたい」気持ちは保護団体として全く同じ想いで日々活動しています。野良猫をこれ以上増やさないう、不妊去勢手術の促進はもとより、さくらねこやTNRの理解促進が今後全国的な大きなねりになることを期待しています。小さな都市だからできる、大人も子どもも巻き込んだ草の根運動的な動物愛護と適正飼育についての啓蒙啓発をこれからも続けてまいりますので、今後ともご協力をよろしく願います。



いつか一戸建てに住んだら犬を飼うのが夢でした。

惨い目に遭っている動物たちが大勢いることは知っていたので、

飼う時が来たらペットショップではなく絶対に保健所からもらうと心に決めていました。

引越しの翌日には里親会に面会に行っていました。

そして引越し荷物がまだ片付かない内にやって来たやんちゃ盛りの子犬が、

ダンボールをぼろぼろにして暴れ回ったのも今は懐かしい思い出です。

甘えん坊でいつも人のそばにいたいゾロともう離れられないのは実は私の方かも知れません。

森 明子 2012年 いのちつないだ・ワンニャン写真・動画コンテスト応募作品

# 「不幸な犬猫を減らしたい」

あなたの想い、動物たちに届けます。

殺処分ゼロを実現するため、あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

# 2,000 円で一頭のオスねこが… 4,000 円で一頭のメスねこが…

## 「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

### 寄付はこちら

#### 郵便局

00230-8-72832  
公益財団法人どうぶつ基金  
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

どうぶつ基金QRコード



かざして基金QRコード



かざして募金

#### 銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)  
普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金  
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

WEB寄付のお願い特設ページ

どうぶつ基金 寄付

検索

### ■ ご寄付をいただいた皆様へ現場から感謝の声が届いています!

皆様のやさしいお気持ちのおかげで、たくさんの命を助けることができました。本当にありがとうございます。TNRできた現場では、猫たちが自然の中で、のびのびと幸せそうに暮らしています。猫と人が仲良く暮らしている世の中になるよう、私も尽力いたします。ご寄付をくださった皆さまに、いいことがたくさんありますよう、お祈りしております。重ねて御礼申し上げます!

埼玉県 Kさん

ご寄付有難うございました。温かいお心と共に、寄附をするという行動力、勇気に深く感謝してTNR活動に参加させて頂きました。殺処分される犬・猫達の命の尊さを考えると、多くの人間が関心をもたなければならぬ課題なのだと思います。一人ひとりができる「何か」を考え実行していくことで、待たなしの殺処分を減らして行きましょう。今後ともTNR活動へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

広島県 Yさん

ご寄付頂き、誠に有難うございます。私達の活動を支えて下さる方々がいらっしゃることに、これからもこの活動を続ける力を頂いて居ります。おかげさまで、私達が活動している地域でのTNRは、大分進みました。1匹でも多くの猫の手術を進めて行きたいと考えています。

神奈川県 Kさん



さくらねこ SHOP

sakura neko shop

<http://doubutukikin.thebase.in/>



## かわいいグッズを買って寄付になる、 どうぶつ基金公式「さくらねこSHOP」がOPEN!

どうぶつ基金のオフィシャルネットショップです。収益は犬やねこの救済に使われます。

amazon.co.jp でもご購入いただけます。

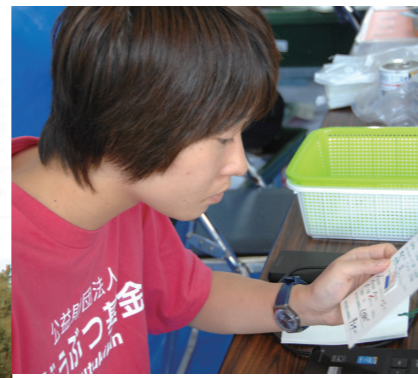
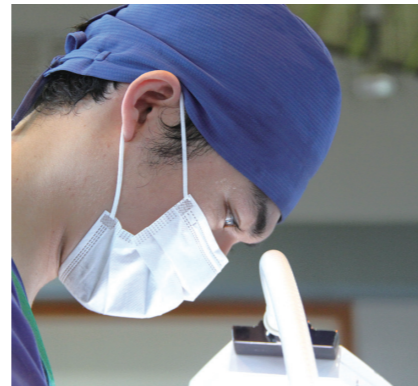
Sakura neko Shop Amazon店



# D 公益財団法人 どうぶつ基金

どうぶつ基金は、1988年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。どうぶつ基金では、約10万頭(平成26年度)の犬や猫の行政による殺処分を早期にゼロにするために様々な取り組みを行っています。犬や猫の殺処分数は年々減少しており、殺処分ゼロは決して夢物語ではありません。今までの「蛇口は開きっぱなし、桶から漏れた水はどんどん下水に流す」というシステムを変え「蛇口を絞って、受ける桶を大きくする」ということを地道に実践し訴えることが殺処分ゼロへの王道だと考えています。このビジョンに従いどうぶつ基金の事業は成り立っています。蛇口を絞める取り組みが「さくらねこ無料不妊手術事業」です。さくらねこTNRを推進することで、殺処分されてしまう猫を減らすことができます。受け皿を大きくする取り組みが「行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度」と「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト」です。助成金制度によって、殺処分対象の犬や猫を引き取り、新しい飼い主を探す取り組みをしている団体を応援します。写真・動画コンテストによって、ペットを買わずに飼うことの素晴らしさを広め、現在飼い主のいない犬や猫の受け入れ先を増やします。

どうぶつ基金は「動物と人が幸せに共存できる日本」「殺処分ゼロの国日本」の実現のため、やみくもに活動するのではなく、社会システムを見極めたうえで、明確なビジョンの元に地道な取り組みをこれからも続けていきます。



## history

- 昭和63年(1988年) 富岡操(初代会長)が全財産を提供し横浜市に財団法人横浜動物福祉協会として設立。
- 平成2年(1990年) 神奈川県愛甲郡清川村に動物保護シェルター建設  
事務局を横浜市から神奈川県愛甲郡清川村に移転
- 平成10年(1998年) 名称を財団法人富岡操動物愛護基金に変更
- 平成17年(2005年) 地域猫無料不妊手術を開始
- 平成18年(2006年) 会長に佐上邦久就任  
地域猫無料不妊手術1,000頭達成  
座間市で行政による猫引取り殺処分ゼロを達成  
名称を財団法人どうぶつ基金に変更  
事務局を横浜市神奈川区に移転
- 平成19年(2007年) 神奈川県の猫100頭無料不妊手術キャンペーンを実施  
清川村で集中不妊手術、保健所による猫引取り殺処分数ゼロ達成  
厚木市で200頭の集中無料不妊手術の結果殺処分38%減少
- 平成20年(2008年) 猫無料不妊手術3,000頭達成(平成18・19・20年度合計)
- 平成21年(2009年) 猫TNR耳先カット助成金制度を開始  
ネコミュ2009横浜に参加  
世界初「みみ先カット猫写真展」を横浜で開催
- 平成22年(2010年) 内閣総理大臣より公益財団法人承認  
兵庫県芦屋市に事務局移転  
環境省主催 生物多様性エキスポ福岡にて「愛され猫のしるし・みみ先カット猫写真展」  
衆議院会館「犬猫等の殺処分を禁止する議員連盟第3回勉強会」で佐上理事長が講演「殺処分ゼロへの提言」  
いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表(エコメッセ千葉 幕張メッセ)  
前会長で現顧問の山口武雄先生が動物愛護功労者として環境大臣表彰を受賞  
佐上理事長と山口武雄顧問・森田恭通氏(デザイナー・審査委員長)・マエキタミヤコ氏ら小沢鋭仁環境大臣を表敬訪問
- 平成23年(2011年) いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表  
「どうぶつからの感謝状」コンテスト環境大臣賞発表  
ねこ不妊手術無料キャンペーン(計102頭)
- 平成24年(2012年) いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表  
さくらねこ無料不妊手術(計2,750頭)  
石垣市との協働 さくらねこ無料不妊手術(計171頭)
- 平成25年(2013年) いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表  
さくらねこ無料不妊手術(計2,062頭)  
世界遺産姫路城で出張手術実施
- 平成26年(2014年) いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表  
さくらねこ無料不妊手術(計8,262頭)  
徳之島ごとさくらねこTNRプロジェクトスタート  
行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度実施
- 平成27年(2015年) いのちつないだワンニャン写真コンテスト環境大臣賞発表  
さくらねこTNRポスターコンテスト開催 森田恭通賞発表  
さくらねこ無料不妊手術(計8,046頭)  
行政による犬猫の団体等譲渡事業推進のための助成金制度実施  
徳之島3町から感謝状を贈呈される



創設者 富岡 操



1990年～2006年 動物保護シェルター



環境大臣を表敬訪問



「愛され猫のしるし・みみ先カット猫写真展」

正味財産増減計算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
1 経常増減の部			
(1)経常収益	48,084,677	31,479,447	16,605,230
基本財産運用益	18,090,685	23,165,370	△ 5,074,685
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	18,090,685	23,165,370	△ 5,074,685
受取寄付金	29,968,499	8,312,031	21,656,468
雑収益	25,493	2,046	23,447
(2)経常費用			
事業費	50,602,203	42,233,002	8,369,201
給与手当	2,552,370	389,610	2,162,760
旅費交通費	2,146,738	2,197,221	△ 50,483
通信費	242,927	5,746	237,181
支払助成金	27,555,392	30,860,534	△ 3,305,142
荷造運賃	1,447,660	317,697	1,129,963
広告宣伝費	11,971,271	4,459,891	7,511,380
消耗品費	1,734,237	3,296,294	△ 1,562,057
賃借料	0	0	0
支払手数料	2,292,729	408,513	1,884,216
雑費	658,879	297,496	361,383
管理費	801,760	327,000	474,760
支払報酬料	763,560	327,000	436,560
租税公課	38,200	0	38,200
雑費	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,319,286	△ 11,080,555	7,761,269
2 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	24,386,026	△ 24,386,026
基本財産評価益	0	24,386,026	△ 24,386,026
(2)経常外費用	18,352,165	0	18,352,165
基本財産評価損	18,352,165	0	18,352,165
当期経常外増減額	△ 18,352,165	24,386,026	△ 42,738,191
当期一般正味財産増減額	△ 21,671,451	13,305,471	△ 34,976,922
一般正味財産期首残高	174,934,167	161,628,696	13,305,471
一般正味財産期末残高	153,262,716	174,934,167	△ 21,671,451
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
	153,262,716	174,934,167	△ 21,671,451

正味財産増減計算書内訳表 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	公益目的事業会計		収益事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	小計	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1)経常収益	46,203,246	46,203,246	0	0	1,881,431	0	48,084,677
基本財産運用益	16,209,254	16,209,254	0	0	1,881,431	0	18,090,685
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取配当金	16,209,254	16,209,254	0	0	1,881,431	0	18,090,685
受取寄付金	29,968,499	29,968,499	0	0	0	0	29,968,499
雑収益	25,493	25,493	0	0	0	0	25,493
(2)経常費用							
事業費	50,602,203	50,602,203	0	0	801,760	0	51,403,963
給与手当	2,552,370	2,552,370	0	0	0	0	2,552,370
旅費交通費	2,146,738	2,146,738	0	0	0	0	2,146,738
通信費	242,927	242,927	0	0	0	0	242,927
支払助成金	27,555,392	27,555,392	0	0	0	0	27,555,392
荷造運賃	1,447,660	1,447,660	0	0	0	0	1,447,660
広告宣伝費	11,971,271	11,971,271	0	0	0	0	11,971,271
消耗品費	1,734,237	1,734,237	0	0	0	0	1,734,237
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	2,292,729	2,292,729	0	0	0	0	2,292,729
雑費	658,879	658,879	0	0	0	0	658,879
管理費	0	0	0	0	801,760	0	801,760
支払報酬料	0	0	0	0	763,560	0	763,560
租税公課	0	0	0	0	38,200	0	38,200
雑費	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,398,957	△ 4,398,957	0	0	1,079,671	0	△ 3,319,286
2 経常外増減の部							
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	16,443,540	16,443,540	0	0	1,908,625	0	18,352,165
基本財産評価損	16,443,540	16,443,540	0	0	1,908,625	0	18,352,165
当期経常外増減額	△ 16,443,540	△ 16,443,540	0	0	△ 1,908,625	0	△ 18,352,165
他会計振替額	4,849,944	4,849,944	0	0	△ 4,849,944	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,992,553	△ 15,992,553	0	0	△ 5,678,898	0	△ 21,671,451
一般正味財産期首残高	154,084,859	154,084,859	0	0	20,849,308	0	174,934,167
一般正味財産期末残高	138,092,306	138,092,306	0	0	15,170,410	0	153,262,716
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高							
	138,092,306	138,092,306	0	0	15,170,410	0	153,262,716

貸借対照表 平成28年3月31日現在

公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	9,057,159	2,704,316	6,352,843
未収入金	477,066	155,155	321,911
立替金	0	0	0
流動資産合計	9,534,225	2,859,471	6,674,754
2 固定資産			
基本財産	146,086,257	180,918,692	△ 34,832,435
投資有価証券	146,086,257	180,918,692	△ 34,832,435
その他固定資産	0	0	0
TNR事業推進資金	0	0	0
基本財産取得資金	0	0	0
固定資産合計	146,086,257	180,918,692	△ 34,832,435
資産合計(A)	155,620,482	183,778,163	△ 28,157,681
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,335,205	8,842,556	△ 6,507,351
預り金	22,561	1,440	21,121
流動負債合計	2,357,766	8,843,996	△ 6,486,230
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計(B)	2,357,766	8,843,996	△ 6,486,230
III 正味財産の部			
正味財産 (C)=(A)-(B)	153,262,716	174,934,167	△ 21,671,451
負債及び正味財産合計(B)+(C)	155,620,482	183,778,163	△ 28,157,681

貸借対照表内訳表 平成28年3月31日現在

公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	9,057,159	0	0	0	9,057,159
未収入金	477,066	0	0	0	477,066
立替金	0	0	0	0	0
仮払金	0	0	0	0	0
流動資産合計	9,534,225	0	0	0	9,534,225
2 固定資産					
基本財産	130,893,286	0	15,192,971	0	146,086,257
投資有価証券	130,893,286	0	15,192,971	0	146,086,257
その他固定資産	0	0	0	0	0
TNR事業推進資金	0	0	0	0	0
基本財産取得資金	0	0	0	0	0
固定資産合計	130,893,286	0	15,192,971	0	146,086,257
資産合計(A)	140,427,511	0	15,192,971	0	155,620,482
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	2,335,205	0	0	0	2,335,205
預り金	0	0	22,561	0	22,561
仮受金	0	0	0	0	0
流動負債合計	2,335,205	0	22,561	0	2,357,766
2 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計(B)	2,335,205	0	22,561	0	2,357,766
III 正味財産の部					
正味財産 (C)=(A)-(B)	138,092,306	0	15,170,410	0	153,262,716
負債及び正味財産合計(B)+(C)	140,427,511	0	15,192,971	0	155,620,482



どうぶつ基金は、人とどうぶつが  
幸せに共生できる社会づくりに貢献します。